

MongoDBにおけるトランザクション としての一括更新方式

2015年 8月 20日

- 工藤 司 (静岡理科大学)
- 石野 正彦 (文教大学)
- 五月女 健治 (法政大学)
- 片岡 信弘 (インタプライズモデリング研究所)



目次

1. はじめに
2. MongoDBの同時実行制御と時制更新方式
3. MongoDBにおける一括更新方式の提案
4. 実装と評価
5. 考察
6. まとめ

NoSQLデータベースの普及

■ ビッグデータの時代のデータベースへの要請

- Volume: 膨大なデータへの対応
 - ✓ 保存するデータ量の増大
- Velocity: 効率的なアクセスの実現
 - ✓ 全世界のユーザからのアクセスに対応
- Variety: 多種多様なデータへの対応
 - ✓ 固定的な表 ⇒ スパース・動画などへ拡大



■ リレーショナルデータベース(RDB)の限界

⇒ 様々なNoSQL (Not Only SQL) データベース実用化

MongoDBの概要

■ MongoDB

- ドキュメント指向 NoSQLデータベース
 - ✓ JSONで表現される半構造データモデル
 - ✓ スキーマレス (データ構造の事前決定不要)



✓ JSONによる表現の事例 (工藤の氏名, 住所)

```
{ "_id": 1, "name": { "first": "T sukasa", "last": "Kudo" },
  "address": "Hukuroi-shi, Shizuoka" }
```

"nobunaga@example.com"

"leyasu@example.jp"

"leyasu@example.com"

(異なる)フィールド

本研究の狙い

■ NoSQLのトランザクション管理の課題

- ✓ MongoDB: ドキュメント単位のみ
(複数ドキュメントのトランザクション更新は不可)

□ リレーショナルデータベースにおける関連研究

- ✓ 「時制更新方式」の提案と実装
(長時間のバッチ更新をトランザクション処理)



■ 本研究の狙い: 「時制更新方式」のMongoDB適用

⇒ MongoDBにおけるトランザクション管理の提供

従来のMongoDBのトランザクション管理

■ 複数ドキュメントの一括更新

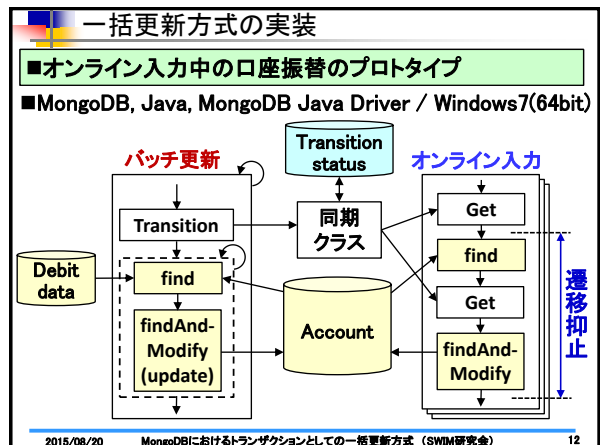
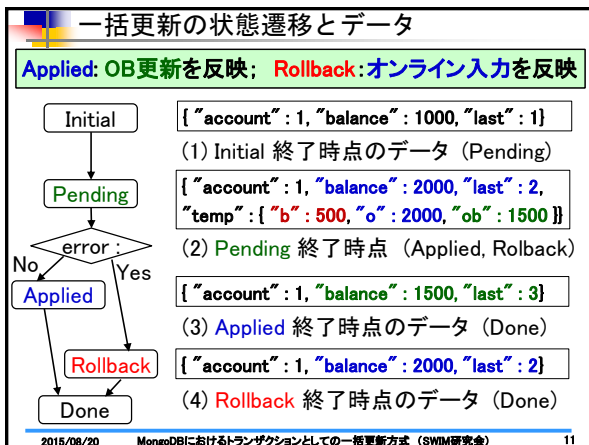
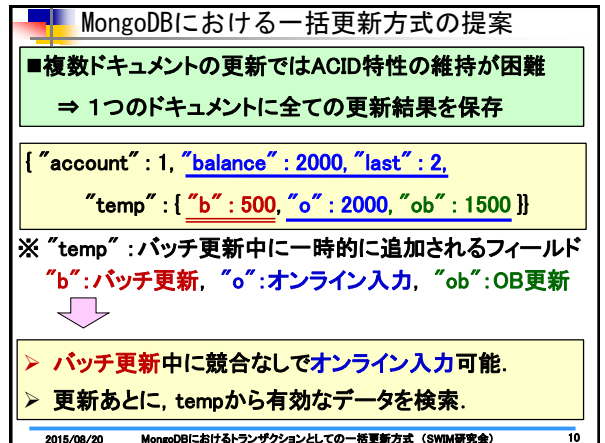
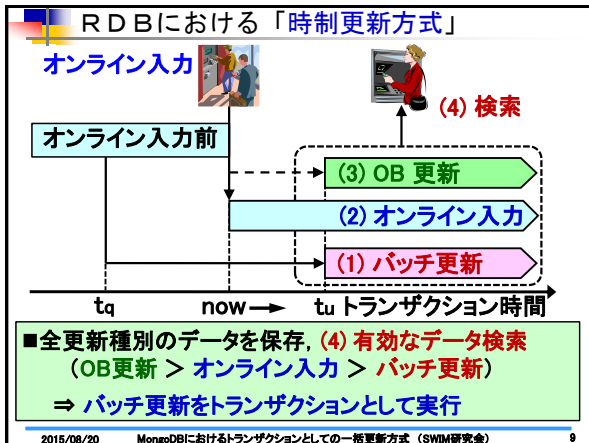
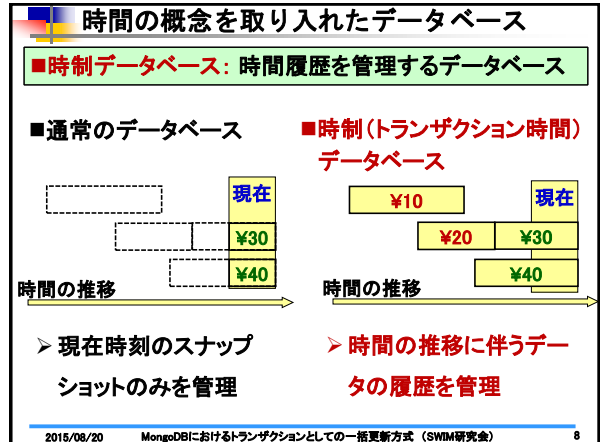
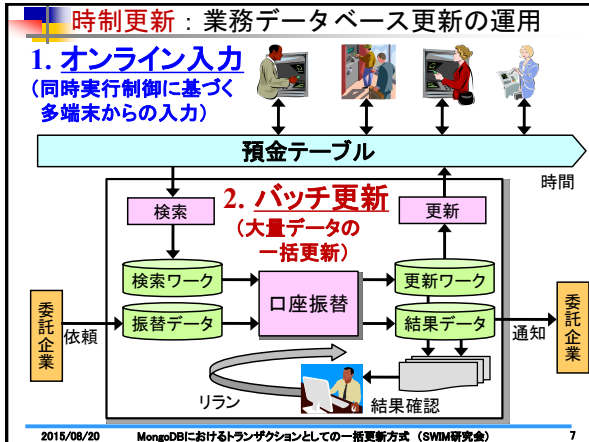
- 方式: 2相コミット (Two Phase Commit)
- 事例: 銀行システムの口座振替
(口座Aから口座Bに100円振り込む)

預金口座	口座A	1000	1000	900	900	900
				1		1
	口座B	1000	1000	1000	1100	1100

状態遷移	状態	initial	pending	pending	applied	done
------	----	---------	---------	---------	---------	------

■ 中間状態を他のトランザクションから検索可能

⇒ ACID特性を維持できない (分離性に課題)

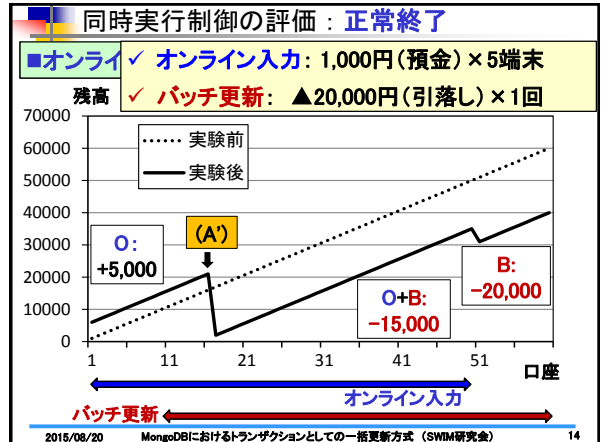


時制更新方式の実装

処理段階	バッチ更新		オンライン入力	
	読み出し	書き込み	読み出し	書き込み
Initial	—	—	balance	balance
Pending	balance	temp.b	balance	balance temp.o temp.ob
Applied	temp	balance temp (削除)	temp	balance temp (削除)
Rollback	—	temp (削除)	balance	balance
Done	—	—	balance	balance

■Applied(tempの有効データをbalanceに反映)で競合
 ⇒ 更新回数(last)を用い楽観的方法で同時実行制御
 ■その他の段階は競合なし

2015/08/20 MongoDBにおけるトランザクションとしての一括更新方式 (SWIM研究会) 13



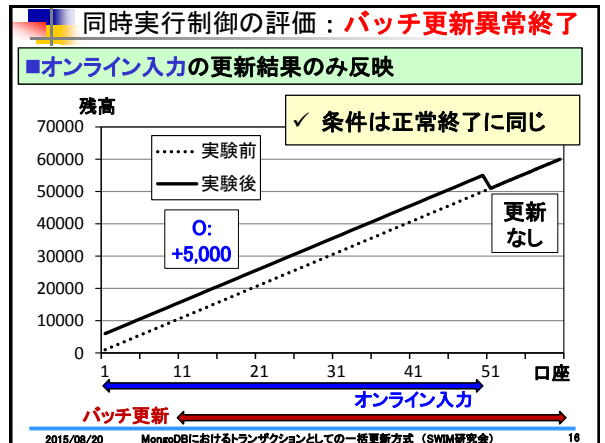
同時実行制御の評価：正常終了

■変化点(A')前後のデータ(Pending完了時点)
 > バッチ更新終了後も、オンライン入力継続
 > 最終残高: OB更新+以降のオンライン入力

```

{ "account": 15, "balance": 18000, "last": 3 }
{ "account": 16, "balance": 19000, "last": 3 } ← (A')
{ "account": 17, "balance": 20000, "last": 3,
  "temp": { "o": 20000, "ob": 0 } }
{ "account": 18, "balance": 21000, "last": 3,
  "temp": { "o": 21000, "ob": 1000 } }
{ "account": 19, "balance": 22000, "last": 3,
  "temp": { "b": 0, "o": 22000, "ob": 2000 } }
{ "account": 20, "balance": 23000, "last": 3,
  "temp": { "b": 1000, "o": 23000, "ob": 3000 } }
  
```

2015/08/20 MongoDBにおけるトランザクションとしての一括更新方式 (SWIM研究会) 15



- ### 考察
- ACID特性を維持したバッチ更新の実現
 - 原子性
 - ✓ Applied: オンライン入力・バッチ更新の両方反映
 - ✓ Rollback: バッチ更新のみ取消し
 - 一貫性: a. より更新結果は一貫性のある状態
 - 分離性: バッチ更新はオンライン入力に影響しない
 - 持続性:
 - ✓ Applied状態でオンライン入力・バッチ更新統合
 - ✓ ただし、統合前後、実施中で検索結果は一致
- 2015/08/20 MongoDBにおけるトランザクションとしての一括更新方式 (SWIM研究会) 17

- ### 考察
- オンライン入力の長時間待ちなしにバッチ更新を実行
 - ✓ Appliedの段階以外では、競合は発生しない。
 - ✓ Appliedの段階では、楽観的方法で1件単位に処理
 - 実際の業務における一括更新の事例
 - ⇒ 本方式の適用対象
 - ✓ 販売システム: 季節ごとの商品の入替え
 - ✓ 人事システム: 年度当初の人事異動
- 2015/08/20 MongoDBにおけるトランザクションとしての一括更新方式 (SWIM研究会) 18

まとめ

- NoSQLデータベース(MongoDB)の課題
 - 複数ドキュメントの更新でACID特性の維持が困難
- 提案: RDBの時制更新の概念に基づく一括更新方式
 - ACID特性を維持した更新が可能
 - オンライン入力を同時実行しても長時間待ちがない
- 今後の課題
 - 複数データを更新するオンライン入力への適用
- 謝辞

本研究はJSPS科研費15K00161の助成を受けたものです。

2015/08/20

MongoDBにおけるトランザクションとしての一括更新方式 (SWIM研究会)

19

MongoDBにおけるトランザクション としての一括更新方式

ご静聴ありがとうございました。

2015年 8月 20日

○工藤 司 (静岡理科大学)
石野 正彦 (文教大学)
五月女 健治 (法政大学)
片岡 信弘 (インタプライズモデリング研究所)



MongoDBにおけるトランザクションとしての一括更新方式 (SWIM研究会)

20